

単元指導計画 1年生『たぬきの糸車』

【単元の目標】

場面や登場人物の様子を想像したり、声に出して読んだりして、お話を楽しむことができる。
(読むこと Cアウエ)
友だちにも読んでもらいたいお話を決め、書いたり話したりして紹介することができる。
(話すこと・聞くこと Aアイ)(読むこと ア)

【単元の評価規準】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に対する知識・理解・技能
・「たぬきの糸車」を楽しんで読み、たぬきとおかみさんのやりとりに興味を持って、進んで様子を読み取るうとしている。	・おかみさんの心の揺れ動きや、たぬきの行動のおかしさについてイメージを広げたり変えたりしながら読んでいる。 ・話の内容がよく伝わるように、言葉と言葉のつながりや声の大きさを考えて読んでいる。	・新出漢字・読み替え漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ・糸車、障子、板の間、土間などの馴染みの薄い語句の意味をとらえている。

時	ねらい	学習活動	評価規準・評価方法	指導・援助
1	<p>題名や挿絵から話を想像することができる。</p> <p>教師の範読を聞き、特に印象に残った場面を選び、発表することができる。</p>	<p>題名や挿絵からお話の内容を想像する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>お話を聞いて、一番心に残ったことを話し合おう。</p> </div> <p>教師の範読を聞く。 感想をノートに書く。 感想を交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>単元を貫く課題 お父さん・お母さんに、たぬきのかわいい様子がわかってもらえるような紙芝居を作ろう。</p> </div>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・「たぬきの糸車」を読んで、自分なりの感想を持ち、発表している。(発言)</p>	<p>・お話の内容の大体がつかめるよう各場面の挿絵を活用する。</p> <p>・どの子も感想が発言できるように全体で交流する前に、グループで意見交換をする。</p>
2	<p>場面ごとに話の大体を考えることができる。</p> <p>場面ごとに疑問を持ち、意見を発表することができる。</p>	<p>場面分けをする。</p> <p>場面ごとに読み、内容の大体を出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>場面ごとに、わからないこと、もっと知りたいこと、不思議に思ったことを出し合おう。</p> </div> <p>場面ごとに疑問を出し合う。 次回からの学習課題を確認する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・場面ごとに話の大体を考えた発言をしている。・場面ごとに疑問を持ち、それを発表している。(発言)</p>	<p>・「」(話した言葉)や行動を表す言葉に着目すると、気持ちを想像しやすいことを例示する。</p> <p>・お話の内容の大体がつかめるよう各場面の挿絵を活用する。</p>
3	<p>毎晩のようにやって来ていたずらをするたぬきの様子を想像して読み取ることができる。</p>	<p>第一場面を音読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>毎晩のようにやってきて、いたずらをするたぬきの気持ちを考えよう。</p> </div> <p>自分の考えをノートに書く。 グループで話し合う。 着目した表現を交流する。 ノートにまとめる。 音読練習をする。</p>	<p>【読むこと】</p> <p>・きこりの夫婦が住んでいるところの情景やいたずらをするたぬきの気持ちについて想像している。(発言)</p>	<p>・山奥の一軒家のイメージを深める。</p> <p>・たぬきが毎晩のようにやってくるわけを考えさせる。</p> <p>・「いたずら」「わな」をキーワードにしてイメージを広げる。</p>
時	ねらい	学習活動	評価規準・評価方法	指導・援助
4	<p>おかみさんのたぬきに対する気持ちの変化を読み取ることができる。</p>	<p>第二場面を音読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おかみさんが「おもわず」「ふきだしそう」になった気持ちについて考えよう。</p> </div> <p>自分の考えをプリントに書く。 グループで話し合う。 着目した表現を交流する。 プリントにまとめる。 「いたずらもんだが、かわいいな。」を工夫して音読する。</p>	<p>【読むこと】</p> <p>・おかみさんのたぬきに対する気持ちの変化(いたずらもの かわいいもの)を読み取ることができる。(発言・プリント)</p>	<p>・実際に糸車を回した体験を思い起こさせる。</p> <p>・動作化する。</p> <p>・「キーカラカラ キークルクル」という音に着目して、音読するよう働きかける。</p>
5	<p>おかみさんがたぬきを逃がした理由や、逃がしてもらったたぬきの様子や会話を考えることができる。</p>	<p>第三場面を音読する。</p> <p>たぬきとおかみさんの出会いの場面を想像し、交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おかみさんがたぬきを逃がしたわけを考えよう。</p> </div> <p>自分の考えをプリントに書く。 グループで話し合う。 着目した表現を交流する。 プリントにまとめる。 「かわいそうに。わなになんかかかるんじゃないよ。」を工夫して音読する。</p>	<p>【読むこと】</p> <p>・「さけびごえ」「こわごわ」という言葉に着目して様子を想像することができる。(発言・プリント)</p>	<p>・第一・第二場面のおかみさんとたぬきの様子、気持ちの移り変わりを思い起こさせる。</p> <p>・「おかみさんは怖いのに、どうして一人で行ったのか。」問い、おかみさんの気持ちに迫る。</p>
	<p>糸を紡いでいるため</p>	<p>第四場面を音読する。</p> <p>たぬきとおかみさんの出会いの場</p>	<p>【読むこと】</p> <p>・「あっとおどろ</p>	<p>・おかみさんの驚きをとらえさせ、読み方を</p>

